GREEN HOUSE

GAUDI

SDHCメモリーカード対応

HD画質デジタルビデオカメラ

取扱説明書

GHV-DV30HDLX



・本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は日本国外では使用できません。
・日本国外で使用された製品によるいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
・日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行なっておりません。

・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

目次

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただく上で、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

■絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（もし異常が起こったら）

●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチを OFF にする

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社カテクニカルポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを OFF にする

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

●本機を落としたりした場合は、すぐに電源スイッチを OFF にする

●AC アダプタのコードが傷んだり、発熱したときは、すぐに電源スイッチを OFF する

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

⚠ 警告

設置について

禁止

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

風呂場・シャワー室での使用禁止

●風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また故障の原因となります。

水ぬれ禁止

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本機は防水設計されておりません。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について

分解禁止

●修理・改造・分解はしない

本機を分解したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社テクニカルサポートにご依頼ください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電池を抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

禁止

●運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対にしないでください。交通事故の原因になります。

⚠警告

設置について

禁止

●異物を挿入しない

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

●雷が鳴り出したら本機に触れない

感電の原因となります。

禁止

●撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影をしないでください。事故やけがの原因となります。

⚠注意

禁止	●温度が高い場所に置かない 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。
禁止	●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。
注意	●移動させる場合は外部の接続コード類を外してから行う コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
注意	●接続する機器の取扱説明書の指示に従う テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

設置について


注意

●乾電池や記録メディアなどを取り外すときは手をそえる

乾電池や SD/SDHCメモリーカードなどを取り外すときに、飛び出すことがあり、けがの原因になる可能性があります。


禁止

●使用中は本機を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となる可能性があります。


禁止

●本機に乗ったりしない

特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。


禁止

●テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない

本機から外部出力でテレビなどに出力した際、音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるように

⚠注意

電池について

禁止

●指定以外の電池は使用しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

●極性表示(プラス(＋)マイナス(－)の向き)に注意し、表示通りに入れる

間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池を取出す

●長時間使用しない時は、電池を取り出す

●電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない

電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について

注意

●５年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください

内部にほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

●お手入れの際は安全のために、電池を外してから行ってください

感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

保存場所についてのご注意

●次のような場所での保管は避けてください。

・直射日光のあたる所

・湿気の多い所や風通しの悪い所

・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所

・振動のある所

・ほこりの多い所

・油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

上に物をのせない

●本機の上に物をのせないでください。

使わないときは電源を切っておく

●長時間使用しないときは、電池を抜いて電源を OFFにしてください。

その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。

●ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると、液晶画面や本機、電池が多少熱くなりますが故障ではありません。

製品のお手入れについて

●本機表面や操作ボタン部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。
●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で 5～6倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。
●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。
●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
●お手入れの際は、専用ACアダプタを外してください。

結露について

結露は本機を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本機を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると､内部に水滴がつきます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、電池を外した状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源をONにしてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

結露はこんなときに起こります

・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
・夏季に、冷房のきいた部屋･車内などから急に温度･湿度の高いところに移動して使用したとき。
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

結露が起きやすい環境での仕様はお控えください。

・結露が起こった状態で本機をお使いになると、SD/SDHCメモリーカードや部品を傷めることがあります。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●本機の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化･消失など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

メディアの対応

本機で対応しているメディアはSD/SDHCメモリーカードです。

●全ての「SD/SDHCメモリーカード」の動作保証をするものではありません。
●本機でminiSDカード、microSDカードをご使用される場合は、市販の変換アダプタが必要です。
●MMC(マルチメディアカード)での動作保証はしておりません。
●SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカードは SD Associationの商標です。
●SDロゴ、SDHCロゴは商標です。

各メディアのお手入れについて

●各メディアの接点に指紋、ほこりなどのよごれが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは、柔らかい布で軽く拭いてください。
●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。
●静電気防止剤などは使用できません。メディアを傷める原因となります。

各メディアの保管について

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。
●各メディアは必ず専用ケースに入れて保管してください。
●各メディアに付属していている注意書は必ずお読みください。

本機でメモリカードを使用する前に

●メモリカードを使用する前にデータのバックアップを他のメモリカードに取ってください。
●弊社ではメモリカードのデータ消失等に関して一切の責任を負いません。

著作権について

●テレビ、インターネット、CDなどから録画･ 録音したメディアのコンテンツを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず) することとは法律により禁じられています。
●デジタルカメラなどで撮影した画像データは個人として楽しむなど以外、著作権上権利者に無断で使用できません。

1. 本製品について

本製品の特長や機能、付属品を確認します。

1.1 システム要件

ビデオカメラには、次の仕様を満たしたパソコンが必要です。

- Windows® 2000(SP4), Vista(32bit版), 7(32bit版), XP(SP2/32bit版)
- Quick Time
- USB 1.1 以上の USB ポート
- CD-ROM ドライブ

注意

· USB 1.1 ポートを使用してのデータ転送は、USB 2.0 ポート使用の時よりも著しく低速になります。

· PC に接続して動画を再生する場合は Quick Time のインストールが必要になります。

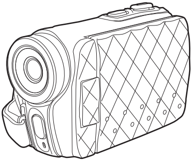
1.2 特長

ビデオカメラには、以下のようなさまざまな機能と特長があります。

- H.264(MOV) 形式での動画撮影が可能
- 3 型ワイド TFT カラーモニタ搭載
- ズーム・マクロなど多彩な撮影機能
- カラー・モノクロ・セピアの 3 種類のカラーモード
- 静止画撮影 (JPEG) 可能
- USB マスストレージ機能搭載
- みんなで楽しめる TV 出力機能搭載

1.3 同梱品の確認

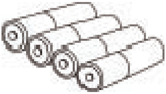
パッケージには、次の項目が含まれます。欠けている項目や壊れているものがある場合は、すぐに弊社カスタマサポートまでお問い合わせください。



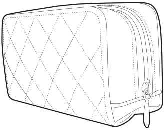
ビデオカメラ本体



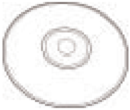
専用 USB/AV ケーブル



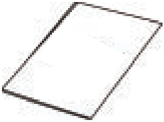
単 4 形アルカリ乾電池



ケース



CD-ROM
(アプリケーションソフトウェア)

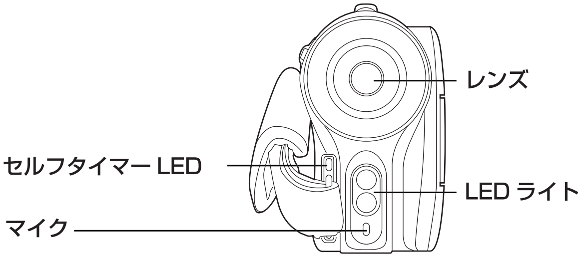


取扱説明書 (本書)

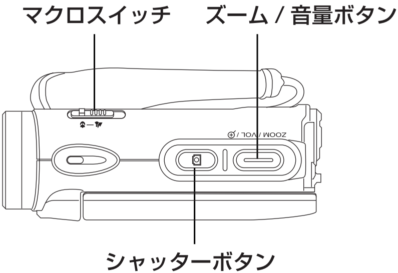
・1 年間保証書
・クイックスタートガイド

1.4 各部のなまえ

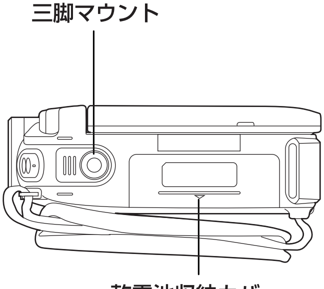
1.4.1　正面



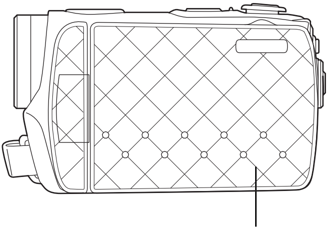
1.4.2　上面



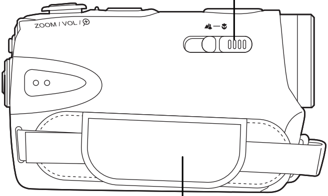
1.4.3　底面



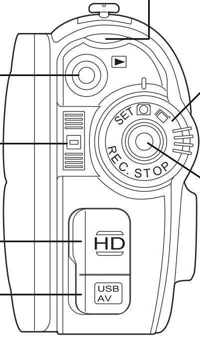
1.4.4　右面



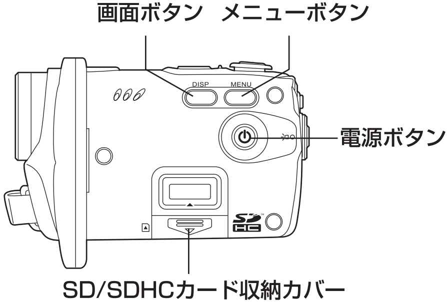
1.4.5 左面


マクロスイッチ
ZOOM / VOL
ハンドストラップ

1.4.6 後面


電源LED
再生/一時停止ボタン
スクロールホイール
HDMI 出力コネクタ
USB / AV 出力コネクタ
モードダイヤル
録画/停止ボタン
SET
REC. STOP
HD
USB
AV

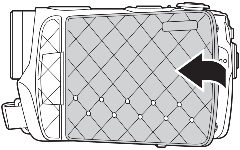
1.4.7　右中面



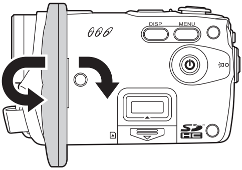
1.4.8　LCD 表示の調整

撮影するときは、LCD スクリーンカバーを 90° 開き (①)、見やすい角度に調整してください (②③)。

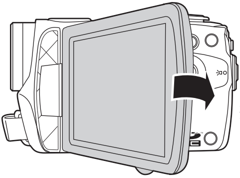
①



②



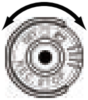
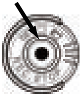
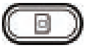
③

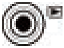


※裏返しに折りたたんで使用
することもできます。

1.4.9　各ボタンの機能説明

各ボタン機能の説明は、下表を参照してください。

ボタン	名称	機能
	電源 ボタン	このボタンを長押しして電源をオン / オフにします
 	メニュー ボタン	このボタンを押して、**メイン OSD メニュー**を表示します
	モード ダイヤル	このダイヤルを使って、動画、静止画、システム設定モードを切替えます。
	録画 / 停止 ボタン	● **動画モード** ・録画の開始 / 停止をします ● **動画再生モード** ・再生を一時停止します。
	スクロール ホイール	● **静止画モード / 動画モード** ・上 / 下…露出補正 (EV) の調整 ・押す…フラッシュモードを選択 ● **静止画再生モード** ・上 / 下…表示したい静止画を選択 ● **拡大再生モード** ・上 / 下…画像の表示場所を移動します ・押す…移動方向を上下←→左右に切替ええます ● **動画再生モード** ・上 / 下…表示したい動画を選択 ・押す…再生 / 一時停止します ● **システム設定モード** ・上 / 下…メニューの選択 ・押す…メニューの決定
	シャッター ボタン	● **静止画モード** ・写真を撮影します。

ボタン	名称	機能
	マクロ スイッチ	スイッチを  位置に移動して、マクロ機能を有効にします。
	再生ボタン	このボタンを押して動画または静止画再生モードを表示します。
	ディスプレイ ボタン	このボタンを 1 回押すと OSD アイコンが非表示されます。もう一度押すと OSD アイコンがすべて表示されます。さらにもう一度押すと LCD スクリーンがオフになります。
	ズーム スイッチ	**● 静止画モード / 動画モード** · 右 / 左…ズームイン / ズームアウト **● 静止画再生モード** · 右…拡大再生モードを表示します。 · 左…保存した静止画のサムネイルを 6 画面表示します。 **● 拡大再生モード** · 右 / 左…静止画の表示倍率を変更します **● 動画再生モード** · 左…保存した動画のサムネイルを 6 画面表示します。 · 左 / 右…動画再生中、再生音量を調整

1.4.10　LED について

本製品の LED の動作と意味は以下の通りです。

LED	色 / 動作	意味
電源 LED (「1.4.6 後面」参照)	緑 / 点灯	電源がオンになっています
	緑 / 点滅	バッテリ残量が少なくなっています
	赤 / 点滅	動画、静止画撮影中です。
セルフタイマー LED (「1.4.6 前面」参照)	赤 / 点滅	セルフタイマーが動作中です 残り２秒になると、点滅が速くなります

2. 準備

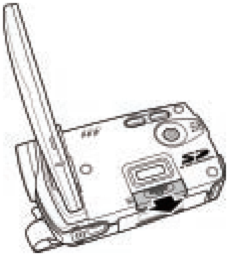
ビデオカメラの準備と使い方の確認をします。ここでは、電源操作、乾電池の装着とSD/SDHCカードの挿入、日付や時刻、言語の設定など、基本機能について説明します。詳細設定機能については、後の章を参照してください。

2.1 SD/SDHCカードの挿入

ビデオカメラにSD/SDHCカードを取り付けることにより、静止画、動画、またはその他ファイルの保存容量を追加できます。

> 本製品の動作仕様として、SD/SDHCカードスロット内にSD/SDHCカードが挿入されている状態においては動画モードの録画、再生、静止画モードの撮影、再生、音声モードの録音、再生がSD/SDHCカードに対して行われます。
> 本製品内蔵のメモリ（128MB、容量の一部はシステムに使用）はSD/SDHCカードスロットにSD/SDHCカードが挿入されていない状態の時のみに有効になります。
> また、パソコンとのUSB接続の際も上記同様の動作になります。

1. 本製品の電源が入っていないことを確認して、LCD スクリーンカバーを開き、SD/SDHC カードの収納部カバーを開きます。



2. 図のように、ラベル面を上にして、SD/SDHC カードを挿入します。
(確実にロックするまで押し込んでください)



3. SD/SDHC カード収納部のカバーを閉じます。

注意

画面上に赤いマークが表示されている場合、SD/SDHCカードが書き込み禁止状態になっていますので、動画、静止画、音声の保存はできません。その際は、電源を切って一旦 SD/SDHCカードを取り出してプロテクトスイッチを解除してから再度ご使用ください。

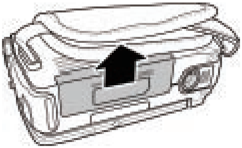
ご使用する SD/SDHCカードは本製品でフォーマットしてください。(→P39)

2.2 電池の装着

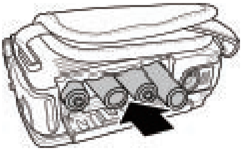
本製品は、**単 4 形乾電池**を **4 本**使うように設計されています。付属の乾電池、または製造元または販売店が推奨する乾電池のみを使用してください。

> **注意**
> 電池は＋－の極性をよく確かめて装着してください。正しく装着されていない場合、故障・発火の原因となる可能性があります。

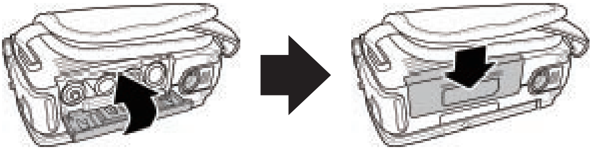
1. 乾電池収納カバーを開けます。



2. 図のとおり、乾電池を挿入します。



3. 乾電池収納カバーを閉じます。

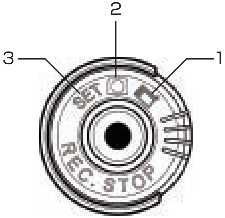


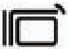
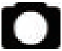
2.3 電源をオン / オフにする

LCDスクリーンカバーの開閉が、ビデオカメラのオン/オフと連動しています。または、電源スイッチを長押しすることで、ビデオカメラのオン/オフを切り替えます。

2.4 モードの変更

モードダイヤルを操作することにより、**動画**、**静止画**、**システム設定**の3つのモードに切り替える事ができます。



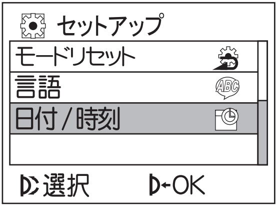
1		動画モード （動画の撮影・再生、音声の録音・再生）
2		静止画モード（静止画像の撮影、再生）
3	SET	システム設定モード（各種設定）

2.5 ご使用前に

本製品のご使用を開始する前に、日付と時刻、および言語の設定をしてください。

2.5.1　日付と時刻の設定

1. ビデオカメラの電源をオンにして、モードダイヤルを**システム設定モード**まで動かします。スクロールホイールの上 / 下で**日付 / 時刻**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。



2. スクロールホイールの上下で、合わせる項目（年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒）を選択し、スクロールホイールを押して決定します。

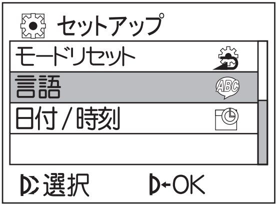


3. スクロールホイールの上下で値を調整し、スクロールホイールを押して決定します。

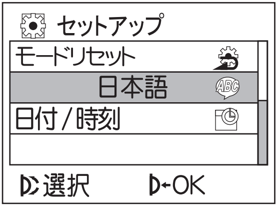
4. すべての項目を調整したら、スクロールホイールで アイコンを選択・決定します。

2.5.2　言語の設定

1. ビデオカメラの電源をオンにして、モードダイヤルを**システム設定モード**まで回転します。スクロールホイールの上下で、**言語**を選択し、スクロールホイールを押して決定します。



2. スクロールホイールの上下で、希望の言語を選択します。言語を選択した後、スクロールホイールを押して決定します。

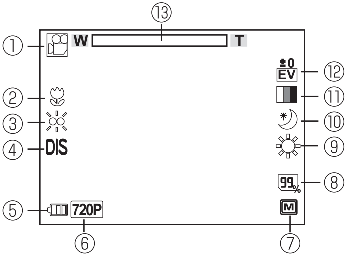


3. 使用する

3.1 動画を撮る / 再生する

動画を撮影 / 再生するにはモードダイヤルを動画モードに切替えます。

3.1.1 動画モード時の画面情報



①動画撮影モード　：　動画撮影モード時の表示

②マクロ　：　マクロをオンにすると近い(約15～16cm)被写体のフォーカスをあわせることができます。

③LEDライト　：　LEDライトオン時の表示
スクロールホイールを押すとLEDライトが点灯します。

④手振れ軽減　：　手振れ軽減オン時の表示

⑤バッテリ残量　：　バッテリ残量の表示

:バッテリ高残量	:バッテリ低残量
:バッテリ中残量	:バッテリ残量なし

⑥解像度　：　動画の解像度の表示

QVGA:320×240

WVGA:848×480

720P:1280×720

⑦記録先メディア　：　録画したファイルの保存先の表示

:本体内蔵メモリ表示	M :SD/SDHC表示

⑧メディアの記録残量割合：　記録先メディアの残り空き容量割合の表示

⑨ホワイトバランス：　ホワイトバランスの表示
下記のような場所で撮影する際、照明条件の色差を補正します。オートの場合、各条件に合わせて自動で補正します。

:晴れ表示　:蛍光灯表示
:曇り表示　:白熱灯表示
※オートに設定したときは非表示になります。

⑩夜間モード　：　夜間モードオン時の表示

⑪特殊効果　：　特殊効果の表示

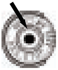
:白黒モード表示(白･グレー･黒のマーク)
:セピアモード表示(白･茶･濃茶のマーク)
※カラーモードに設定したときは非表示になります。

⑫露出補正　：　露出補正の表示
スクロールホイールを上下させることで、−2.0～+2.0EVの範囲を0.5きざみでEV値を調整することができます。

⑬ズームゲージ　：　ズームゲージの表示
ズームスイッチを右に動かすとズームアップし、左に動かすとズームアウトします。
ズームすると黄色のゲージが増減します。

3.1.2 動画を撮る

録画の開始



録画 / 停止ボタンを押して録画を開始します。

録画中に録画 / 停止ボタンを押すと録画が停止します。

録画したファイルは？

録画したファイルは、本製品が独自のファイル名をつけて、自動的にSD/SDHCカードまたは本体内蔵メモリに保存されます。

注意

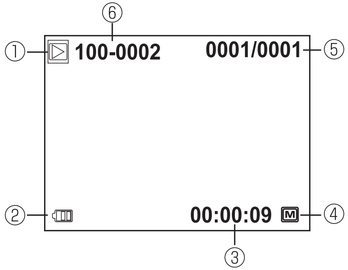
SD/SDHC カードの保存可能領域がなくなると録画は自動的に停止します。

画質は、録画可能な時間に影響を与えます。

画質を高く設定すると、ファイルサイズが大きくなり、録画可能な時間が減少します。

3.1.3 動画再生モード時の画面情報

動画モードで**再生ボタン**を押すと、**動画再生モード**になり、最新の動画ファイルが LCD 画面に表示されます。



①動画/静止画再生モード	：動画/静止画再生モード時の表示
②バッテリ残量(→P26)	：バッテリ残量の表示
③録画時間	：録画時間の表示
④記録先メディア(→P26)	：録画したファイルの保存先の表示
⑤動画ファイルNo/総動画ファイル数	：撮影した動画ファイル番号
⑥100(保存時の固定ファイル名)-ファイル名	：保存したファイル名の表示

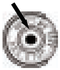
3.1.4　動画を再生する

動画の再生／停止



スクロールホイールを上下に動かし、表示する動画ファイルを選択します。スクロールホイールを押して、動画ファイルの再生を開始します。
もう一度押すと停止します。

動画再生の一時停止



録画 / 停止ボタンを押すと再生が一時停止します。

再生音量の調節



動画の再生中に、ズームスイッチを左右に押して音量を調整します。

動画の早戻し / 早送り



動画の再生中にスクロールホイールを上 / 下させることで、早戻し / 早送り再生が出来ます。
上に押すと早戻し、下に押すと早送りされます。

サムネイルの表示



動画の停止中にズームスイッチを左に押すと撮影したファイルを 6 画面表示でサムネイル表示することができます。
ズームスイッチを右に押すと前画面に戻ります。

その他の機能

動画表示中にメニューボタンを押すと以下のようなメニューを表示します。

一枚消去 ： 選択している動画ファイルを1個削除します。

全消去 ： 保護されていない動画ファイルを全て削除します。

保護 ： 選択した動画ファイルを削除できないように保護します。

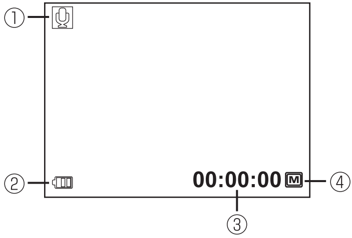
※本機セットアップメニューのフォーマットをすると削除されます。
または、PC接続時にPCでファイルを削除すると削除されます。

自動再生 ： 保存されている全ての動画ファイルをリピート再生します。

3.2 音声を録音 / 再生する

モードダイヤルを に合わせ、「メニュー」ボタンを押し、モード選択を録音モードに切替えます。

3.2.1 音声モード時の画面情報



①録音モード ： 録音モード時の表示

②バッテリ残量 (→P26) ： バッテリ残量の表示

③録音可能時間 ： 録音可能時間の表示

④記録先メディア (→P26) ： 録画したファイルの保存先の表示

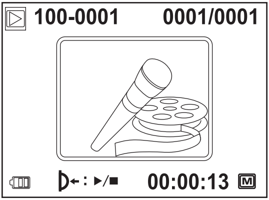
3.2.2 音声を録音する

録画 / 停止ボタンを押して録音を開始します。

録音中に録画 / 停止ボタンを押すと録音を停止します。

3.2.3　音声再生モード時の画面表示

録音した音声ファイルを再生します。



録音再生モード時の画面表示は「3.1.3　動画再生モード時の画面情報」(→P29) と同じになります。

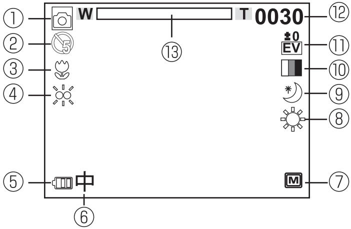
3.2.4　録音した音声を再生する

音声ファイルの再生方法、操作は「3.1.4　動画を再生する」(→P30) と同じ操作方法になります。

3.3 写真を撮る / 見る

写真を撮る / 見るにはモードダイヤルを静止画モードに切替えます。

3.3.1 静止画モード時の画面情報



①静止画モード　：　静止画モード時の表示

②セルフタイマー　：　セルフタイマーの表示

セルフタイマー5秒　（シャッターを押してから5秒後に撮影）
:セルフタイマー10秒　（シャッターを押してから10秒後に撮影）
※オフに設定したときは非表示になります。

③マクロ　：　マクロをオンにすると近い（約15～16cm）被写体のフォーカスをあわせることができます。

④LEDライト　：　LEDライトオン時の表示

⑤バッテリ残量（→P26）：　バッテリ残量の表示

⑥解像度　：　静止画の解像度の表示

低:3M　中:5M　高:7.5M

⑦記録先メディア（→P26）：　録画したファイルの保存先の表示

⑧ホワイトバランス（→P27）：　ホワイトバランスの表示

⑨夜間モード　：　夜間モードオン時の表示

⑩特殊効果（→P27）　：　特殊効果の表示

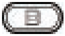
⑪露出補正（→P27）　：　露出補正の表示

⑫記録可能枚数　：　保存先メディアに保存可能な枚数の表示

⑬ズームゲージ（→P27）：　ズームゲージの表示

3.3.2 写真を撮る

写真の撮影



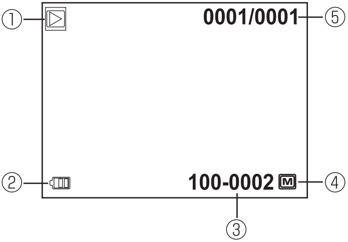
LCD 画面を使って被写体を決定します。
シャッターボタンを押して静止画を撮影します。

撮影したファイルは？

撮影した静止画ファイルは、本製品が独自のファイル名をつけて、自動的に SD/SDHCカードまたは本体内蔵メモリに保存されます。

3.3.3 静止画再生モード時の画面情報

静止画モードで**再生ボタン**を押すと、**静止画再生モード**になり、最新の静止画ファイルが LCD 画面に表示されます。



①静止画再生モード	：	動画/静止画再生モード時の表示
②バッテリ残量(→P26)	：	バッテリ残量の表示
③100(保存時の固定ファイル名-ファイル No	：	保存したファイル名の表示
④記録先メディア(→P26)	：	撮影したファイルの保存先の表示
⑤静止画ファイルNo/総静止画ファイル数	：	撮影した静止画ファイル番号

3.3.4 撮った写真を見る

見たい写真の選択



スクロールホイールを上下に押して静止画を選択します。

サムネイルの表示



ズームスイッチを左に押すと撮影したファイルを６画面表示でサムネイル表示することができます。

写真を拡大して表示





ズームスイッチを右に押すと拡大再生モードに入ります。
拡大再生モードではズームスイッチで倍率変更、スクロールホイールの上下で表示する場所を動かせます。表示場所の移動方向はスクロールホイールを押すことで切替えられます。
録画 / 停止ボタンを押すことで、静止画再生モードに戻ります。

その他の機能

写真表示中にメニューボタンを押すと以下のようなメニューを表示します。

一枚消去　：選択している静止画ファイルを1個削除します。

全消去　　：保護されていない静止画ファイルを全て削除します。

保護　　　：選択した静止画ファイルを削除できないように保護します。

※本機セットアップメニューのフォーマットをすると削除されます。
または､PC接続時にPCでファイルを削除すると削除されます。

自動再生　：保存されている全ての静止画ファイルをスライドショーでリピート再生します。

3.4 パソコンに接続する

ビデオカメラ本体を**付属の専用 USB/AV ケーブル**でパソコンに接続する事によって SD/SDHC カードリーダ機能を使用することができます。



3.4.1　USB マスストレージ

本製品は、**USB マスストレージ機能**に対応しています。

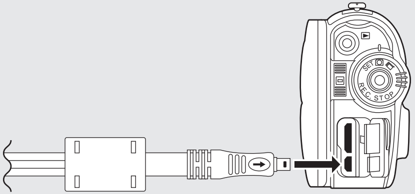
したがって、本製品を マスストレージデバイスとして扱うことができます。カメラを接続していると、Windows エクスプローラに、カメラのメモリまたは挿入されている SD/SDHC カードが表示されます。ファイルは、ドラッグ アンド ドロップできます。

3.5 TVに接続する

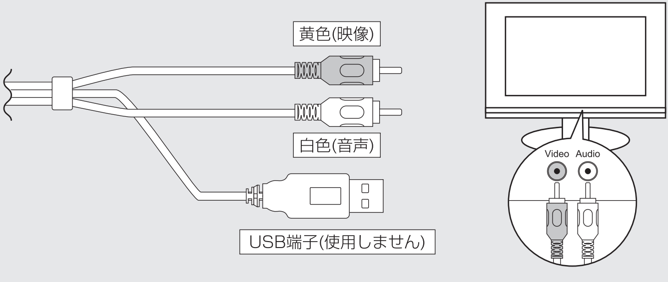
図のように、**付属の専用USB/AVケーブル**またはmini HDMI/HDMIケーブル(別売り)でAV機器にビデオカメラを接続します。

AV機器に接続することにより、AV機器をビデオカメラのLCDディスプレイの代わりとして使用することができます。

ビデオカメラ側の接続



ＴＶ側の接続



4. 各設定メニュー

カメラの設定方法および詳細設定機能の使用方法を確認します。

4.1 本体設定メニュー

モードダイヤルを「SET」に合わせて各種本体設定をおこないます。





4.1.1　操作音

操作音のオン / オフ設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「操作音」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で☑に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

4.1.2　オートパワーオフ

操作音のオン / オフ設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「オートパワーオフ」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で各アイコンに合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

：キー操作しなくても電源がオフになりません。（電池が切れるまで）

1min：1分間何もキー操作しないと電源がオフになります。

5min：5分間何もキー操作しないと電源がオフになります。

4.1.3　TV 出力形式

TV 出力形式設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「TV 出力形式」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で「NTSC」、「PAL」のどちらかに合わせ、スクロールホイールの中央を押す。
※日本国内は「NTSC」で出力するため、「NTSC」に設定します。

4.1.4　フォーマット

本体メモリまたは SD/SDHC カードのフォーマットをします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「フォーマット」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で  に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

4.1.5　モードリセット

工場出荷時の設定に戻します。（「日付 / 時刻」はリセットされません）

1：カーソルをスクロールホイール上下で「モードリセット」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で  に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

4.1.6　言語

言語（日本語、ロシア語、韓国語、アラビア語、英語、中国語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、フランス語、トルコ語、ポルトガル語、オランダ語）の設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「言語」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で表示したい国の言語に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

4.1.7　日付 / 時刻

日付 / 時刻の設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「日付/時刻」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

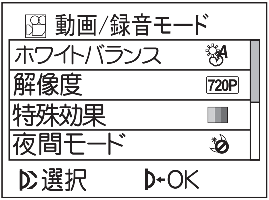
2：カーソルを「年 / 月 / 日 / 時 : 分 : 秒」をスクロールホイール上下で選択し、設定を変更したい場所でスクロールホイールの中央を押す。

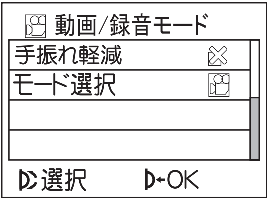
3：スクロールホイールの上下で設定したい日時に変更し、スクロールホイールの中央を押す。

4：設定が終わったら に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

4.2 動画設定メニュー

モードダイヤルを に合わせ、「メニュー」ボタンを押して各種動画設定をおこないます。





4.2.1　ホワイトバランス

ホワイトバランスの設定をします。

色々な条件下で撮影する際、照明条件の色差を補正します。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「ホワイトバランス」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で各アイコンに合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

：各条件に合わせて自動で補正します。

：晴れた空の下で撮影するときに設定します。

：曇った空の下で撮影するときに設定します。

：蛍光灯の下で撮影するときに設定します。

：白熱灯の下で撮影するときに設定します。

4.2.2 解像度

解像度の設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「解像度」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で各アイコンに合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

QVGA ： 320×240
WVGA ： 848×480
720P ： 1280×720

4.2.3　特殊効果

画面の特殊効果を設定します

1：カーソルをスクロールホイール上下で「特殊効果」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で各アイコンに合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

（青・緑・赤）　：カラーの画面になります。

（白・グレー・黒）：白黒の画面になります。

（白・茶・濃茶）　：セピア調の画面になります。

4.2.4　夜間モード

夜間モードのオン / オフ設定をします。

オンにすると薄暗い場所を撮影するときに明るくなります。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「夜間モード」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で　に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

4.2.5　手振れ軽減

振れ軽減のオン / オフ設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「手振れ軽減」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で　に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

4.2.6　モード選択

録画モード、録音モードの設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「モード選択」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で各アイコンに合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

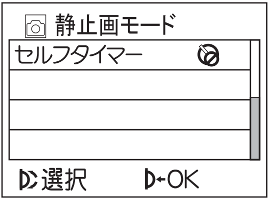
：録音モードに設定します。

：録画モードに設定します

4.3 静止画設定メニュー

モードダイヤルを に合わせ、「メニュー」ボタンを押して各種静止画設定をおこないます。





4.3.1　ホワイトバランス

4.2.1(→P41) と同様の機能になります。

4.3.2　解像度

解像度の設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「解像度」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で各アイコンに合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

低：2048×1536
中：2592×1944
高：3200×2400

4.3.3 特殊効果

4.2.3(→P42) と同様の機能になります。

4.3.4　夜間モード

夜間モードのオン / オフ設定をします。

オンにすると夜景などの光をより明るく撮影することができます。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「夜間モード」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

4.3.5 セルフタイマー

セルフタイマーの設定をします。

1：カーソルをスクロールホイール上下で「セルフタイマー」に合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

2：カーソルをスクロールホイール上下で各アイコンに合わせ、スクロールホイールの中央を押す。

：シャッターボタンを押すとすぐに撮影します。（通常撮影）

：シャッターボタンを押してから 5 秒後に撮影します。

：シャッターボタンを押してから 10 秒後に撮影します。

5. ソフトウェアをインストールする

本製品のソフトウェアのインストール方法を確認します。

※すべての付属ソフトウェアについて、弊社ではサポートをおこなっておりませんので、あらかじめご了承願います。



5.1 インストール手順

1：CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。

2：CD-ROM を挿入すると自動的に上記の画面が表示されます。

3：インストールボタンをクリックしてソフトウェアをインストールします。

4：画面上の指示に従います。

5：インストールが終了したら、CD-ROM を取り出して終了です。

※各アプリケーションソフトについての詳細は、アプリケーション内のヘルプファイルをご覧ください。

6. 製品仕様

撮像素子	1/2.5 型 CMOS イメージセンサー
記録メディア	SD/SDHC メモリーカード（～ 32GB）
内蔵メモリ	128MB フラッシュメモリ（一部はシステムで使用）
レンズ	F/3.2,f=7.5mm 単焦点レンズ
フォーカス範囲	標準：150cm ～無限 マクロ：15cm ～ 16cm
動画 / 音声記録方式	動画：H.264(MOV)/ 音声：AAC
動画サイズ	720P ：1280×720 (30fps） WVGA ：848×480（30fps） QVGA ：320 x 240（30fps）
静止画記録方式	JPEG（EXIF2.2）
静止画サイズ	3200 x 2400（高：7.5M ピクセル）[画素補間] 2592 x 1944（中：5M ピクセル） 2048 x 1536（低：3M ピクセル）
ズーム	最大 3 倍
液晶モニタ	3.0 型液晶パネル
フラッシュ	自動 / 赤目軽減 / 高感度 / オフ
ホワイトバランス	自動 / 晴れ / 曇り / 蛍光灯 / 白熱灯
セルフタイマー	オフ /5 秒 /10 秒
搭載端子	miniHDMI 出力端子 ×1 専用 8 ピン端子（→USB+AV 出力）
信号方式	NTSC/PAL
シャッター速度	1 ～ 1/2000 秒
電池持続時間	写真撮影枚数：約 200 枚 録画時間 (QVGA)：約120分 (WVGA)：約110分 (720P) ：約 50 分 再生時間：約 90 分
外形寸法	W41×D111×H68(mm)※突起部含む
重量	約 224g（本体のみ）
入力電圧	DC6V ～ 4.8V（単 4 形アルカリ乾電池 ×4）
動作温度範囲	0℃～ 40℃
動作湿度範囲	20 ～ 90%(結露なきこと)

7. トラブルシューティング

	問題	考えられる原因	解決方法
電源	カメラの電源が入らない	電池が正しく装着されていますか？	電池の電極（＋,－）を正しく装着されているかご確認ください
		電池残量はありますか？	単4形乾電池を4本交換してください
	カメラの電源が突然オフになる	電池残量が少なくなっていませんか？	単4形乾電池を4本交換してください
		オートパワーオフが設定されていませんか？	設定からオートパワーオフの設定をオフにしてください。
撮影	録画/停止ボタン、シャッターボタンを押しても撮影ができない	撮影可能時間、枚数がいっぱいになっています	SD/SDHCカードを交換するか、不要なデータを削除してから撮影してください
		電池残量が少なくなっていませんか？	単4形乾電池を4本交換してください
	画像のフォーカスが合わない	被写体がフォーカス範囲から外れています	被写体との距離が適切ではありません。被写体との距離に合わせて標準またはマクロモードを選択してください
その他	SD/SDHCカードが使用できない	SD/SDHCカードがプロテクトされていませんか？	SD/SDHCカードのプロテクトスイッチを解除してください
	「撮影可能時間、枚数」に記載されているとおりの記録ができない	記録容量が、SD/SDHCカードに表示している数値より少ない可能性があります	SD/SDHCカードの仕様または撮影環境によっては、表示されている「撮影可能枚数/時間」どおりの記録ができない場合があります

8. 故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　テクニカルサポート
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00～12:00／13:00～17:00　（弊社営業日のみ）
FAX	03-5421-2266（24時間受付）
住所	〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4階

テクニカルサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認はホームページにてお願い致します。

サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。当社ホームページよりご登録お願い致します。

ご使用上のご質問、お問い合わせは当社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。(http://www.green-house.co.jp/support/index.html)

GAUDI

GHV-DV30HDLX

GREEN HOUSE 株式会社 グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-22 三富ビル4F
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0